

リレンザ

【この薬は？】

販売名	リレンザ Relenza
一般名	ザナミビル水和物 Zanamivir Hydrate
含有量 (1ブリスター*中)	ザナミビルとして5mg

(*ブリスター：薬の入っているふくらみ)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する吸入薬です。
- ・この薬は、A型およびB型インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。また、インフルエンザウイルス感染の予防をします。
- ・次の目的で処方されます。
A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防
- ・この薬を治療に用いる場合、インフルエンザ様症状が現れてから2日以内に、使用が開始されます。
- ・この薬は、C型インフルエンザウイルス感染症には効果がありません。

- ・この薬は、細菌感染症には効果がありません。
- ・この薬を予防に用いる場合は、原則としてインフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族または共同生活者である下記の人が対象となります。
 - ・高齢の人（65歳以上）
 - ・慢性心疾患の人
 - ・代謝性疾患の人（糖尿病等）
 - ・腎機能障害の人
- ・この薬は、
 - 〔治療に用いる場合〕
体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。
 - 〔予防に用いる場合〕
使用している期間のみしか効果がありません。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチン療法であり、この薬の予防使用はワクチン療法に置き換わるものではありません。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にリレンザに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 抗インフルエンザウイルス剤の服用の有無または種類にかかわらず、インフルエンザにかかった時は、異常行動を発現した例が報告されています。
異常行動による転落等の万が一の事故を防止するために以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・異常行動があらわれるおそれがあります。また、転落などの事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性での報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。
 - ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落などの事故に対する防止対策が必要です。

【この薬の使い方は？】

この薬は吸入薬です。決して飲まないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人および小児の使用量および回数は、次のとおりです。

〔治療に使用する場合〕

1回2ブリスターを1日2回、5日間使用します。

- ・この薬を治療に用いる場合は、インフルエンザ様の症状があらわれてから2日以内に使用します。

〔予防に使用する場合〕

1回2ブリスターを1日1回、10日間使用します。

- ・インフルエンザウイルス感染症患者に接触後1.5日以内に使用を開始してくだ

さい。

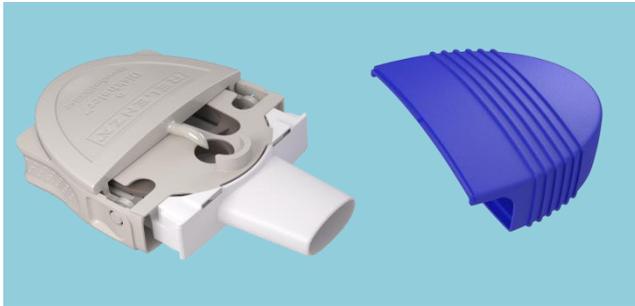
- ・インフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は、この薬を連続して使用している期間のみ持続します。
- ・慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患など）のある人で、慢性呼吸器疾患の治療に用いる吸入薬（短時間作用発現型気管支拡張薬など）を併用する場合には、この薬の前に使用してください。

●どのように使用するか？

専用の吸入器（ディスクヘラー）を用いて吸入してください。患者さんまたは保護者の方は、この薬を使う前に専用の吸入器と使用説明書を受け取り、使用方法について十分理解できるまで説明を受けてください。また、巻末の〔吸入方法〕も参照してください。

不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。

（専用の吸入器）



●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に吸入しないでください。

気が付いた時に、1回分を吸入してください。ただし、次の吸入する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を吸入してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患など）のある人は、この薬を使用した後に気管支けいれん（突然の息切れ、息をするときヒューヒューと音がする、息がぜいぜいする）がおこる可能性があります。このことについて十分理解できるまで説明を受けてください。また、必要な時に使用できるように短時間作用発現型気管支拡張薬を常に所持してください。
慢性呼吸器疾患の治療に使用している吸入薬（短時間作用発現型気管支拡張薬など）を併用する場合には、この薬を使用する前に使用してください。
- ・この薬を強く吸入したり、吸入後に長く息を止め過ぎると、失神（気を失う）やショック症状（息切れ、意識がうすれる、めまい、冷や汗、考えがまとまらない、血の気が引く、判断力の低下）がおこる可能性があります。この薬を吸入するときは使用説明書をよく読んで、くつろいだ状態（例えば座った状態）で吸入してください。なお、万一失神やショック症状のような症状があらわれた場合には、仰向けになって安静にしてただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

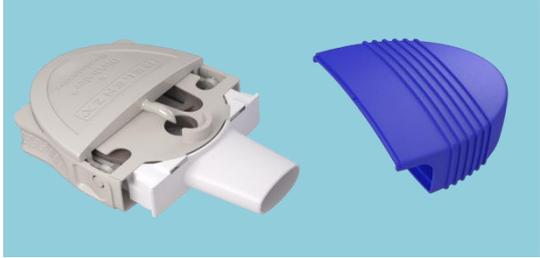
特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
気管支攣縮 きかんしれんしゆく	突然の息切れ、息をするときヒューヒューと音がする、息がぜいぜいする
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしやう (トキシック エピダーマル ネクロライシス: テン)	関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ (水疱)、からだがだるい、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしやうこうぐん (スティーブンス-ジョンソンしやうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
多形紅斑 たけいこうはん	発疹や水ぶくれができる、関節の痛み、発熱
異常行動 いじやうこうどう	普段と違うとつぴな行動をとる、異常行動、急に走り出す、徘徊する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、ふらつき、高熱、発熱、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、冷や汗
頭部	考えがまとまらない、意識の低下、意識がうすれる、めまい
顔面	ほてり、血の気が引く
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、息をするときヒューヒューと音がする、息がぜいぜいする、ひどい口内炎、唇や口内のただれ
胸部	動悸(どうき)、息切れ、息苦しい、突然の息切れ
腹部	食欲不振
手・足	関節の痛み
皮膚	じんましん、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発疹や水ぶくれができる
その他	判断力の低下、陰部の痛み、普段と違うとっぴな行動をとる、異常行動、急に走り出す、徘徊する

【この薬の形は？】

形状	両面アルミニウムの円盤状で4個のブリスター（薬の入っているふくらみ）があるディスク。専用の吸入器を用いて使用する。	
☒	(ディスク) 	(専用の吸入器) 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ザナミビル水和物
添加物	乳糖水和物（夾雑物として乳蛋白を含みます）

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ディスクのブリスター（薬の入っているふくらみ）は、吸湿性が高いので吸入する直前まで穴をあけないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

グラクソ・スミスクライン株式会社 (<http://jp.gsk.com>)

カスタマー・ケア・センター

電話：0120-561-007

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）

[吸入方法]

吸入の準備をします。

*吸入器が回らない等、うまく使えない時は、処方された薬局、医療機関にご相談ください。

1 カバーをはずして、トレーを引き出します。

リレンザ® 表示面を上にして青いカバーをはずし、白いトレーを引き出します。



2 トレーを取りはずします。

白いトレーの側面にあるギザギザのグリップを両側から親指と人差し指でつまみながら（内側に押しながら）、トレーを本体から取りはずします。

ギザギザのグリップ



3 薬(ディスク)をのせます。

ディスクの凸部を白いトレーの4つの穴にはまるようにのせます。



4 トレーをもどします。

白いトレーを本体にカチッと音がするまで押しもどします。



吸入しましょう。

この薬は1回にプリスター2つの吸入が必要です。

5 プリスターに穴を開けます。

吸入器を水平に持ち、①穴が開くまでフタを垂直に立てます。これにより、プリスターの上面、下面と両方に針が貫通して穴が開き（穴は上下2カ所）、薬が下のトレーに落ち、薬を吸入できる状態になります。プリスターに穴が開いたら、②再びフタを閉めます。

穴をあけます



① しっかり立てて垂直になるまで立てる ※垂直に立てないと薬が下に落ちず吸入できません。

② しっかりもどす 穴があいたらフタを閉じる

6 息を吐き出します。

薬がこぼれないように吸入器を水平に保ったまま、無理をしない程度に息を吐き出します。

穴をあけず



吸入口に向けて息を吐き出さないでください。

7 薬を吸い込み、息をこらえます。

吸入口をくわえて、早く深く薬を吸い込みます。このとき、唇間にあたる空気孔をふさがないようにしてください。吸入器を口からはずし、そのまま無理をしない程度に2~3秒息をとめます。

空気孔をふさがない!!



薬は強く吸いすぎる必要はありません。薬が吸入器に残るようであれば、1、2回繰り返して吸い込むようにしてください。

8 2つめの吸入準備をします。

白いトレーを動かさないところまで引き出し、再びカチッと音がするまで本体へ押しもどします。

この薬は1回にプリスター2つの吸入が必要です。



もう1回 **5** ~ **7** をくりかえす。

2つめの薬を吸入します。

2つめのプリスターに穴を開け、吸入しましょう。

このお薬は、通常に非常にお薬です。プリスターに穴を開けるのは、必ず吸入の直前に行ってください。